

自分磨き 将来に備え

「第一印象は30秒で決まります」「笑顔のポイントは口角を上げ、目尻と眉は下げる」と。

1月末、福岡市のオフィス街にあるビルの一室に、朗々とした女性講師の声が響く。

営業職向けの「もう一度会いたいと思われる第一印象の作り方」と題したセミナー会場。スーツ姿の20〜30代の男女20人が参加し、講師からの指導を受けている。2時間のセミナーで、笑顔の作り方やおしぎの練習を重ね、好印象

中小企業 自社研修少なく

若手社員に危機感

を持たれることを学んだ。

セミナーは、営業コンサルディング会社チエースアンドインクリース（福岡市）が企画。1985年の開校以来、延べ

カリキュラムで授業料は約29万円（60回、ベーシックコース）と決して安くはないが、

教員など働く30代。男性でも選挙を控えた政治家や子どもの受験の面接に臨む父親らが個人レッスンを受けに来るといふ。三浦田加里副校長は「外見一つ、話し方一つで印象は変わり、自信もつく。『もうとすてきな自分に成長したい』という人が多く通っています」という。

☆ ☆

礼儀作法や営業力といった基礎的な常識や技術を、わざわざお金をかけて学ぶのはなぜか。

人事・教育制度について約220社のコンサルティング実績がある日本人経営研究室（同）の山元浩二社長によると、従業員500人以下の中小企業の多くは自前の体系的な社員研修制度がない。山

元社長は「若い時に身に付けるべきスキルや考え方を教える本も増えているが、本だけでは限界がある。混沌とした社会に危機感を持ち、自ら学ぼうとする若手社員が増えてくるのだろう」とみる。

中小企業向けの経営指導など行う福岡県中小企業振興センターの担当者も「中小・零細企業は目の前の仕事に追われ、人材育成に充てる時間がない」と話す。

福岡商工会議所は今春、会員企業向けの社員研修講座を拡充する。円高や競争激化で追い詰められる企業と、将来への危機感を募らせる若手社員の意識の「格差」を埋める「基礎力アップ」講座の需要はこれからも高まっていきそうだ。



頭を下げる時間や角度を確認しながら、おしぎの練習をする営業マン 福岡市

画。20人の募集に応募が殺到し、急ぎよ3回開催することにした。同社の宮脇伸二社長は「予想以上の反響」と驚きを隠せない。

受講生からは「自分には笑顔が足りていないことがわかった」「好印象を持たれる話し方を学べた」といった感想が集まった。中には勤務先の紹介で受講した人もいた。

☆ ☆

ホテルニューオータニ博多（同）内にある「フィニッシングスクール インフィニ」は、大人の女性が礼儀作法などを学ぶ教室だ。約7カ月の

約1万1千人が通った。今月11日午前、教室ではフアッション講座が開かれていた。「色がこちゃこちゃしすぎですね。これは取りましよう」「写真撮影の時は腕時計は外して。その方が腕がすっきりと見えます」

実際に自分の服やアクセサリを持ち寄って、さまざまなおコーディネートを披露。写真を撮り、講師のアドバイスを受けながら、仕事やプライベートなどの状況に合わせた最適な着こなしを学ぶ。

受講生の9割は女性で、一番多いのは会社員や看護師、

納得経済楽